

木山捷平文学選奨 作品集募集

詩・小説の分野で独自の足跡を残し、笠岡市を代表する小説家である木山捷平を顕彰するとともに、市民の文芸創作活動を奨励し、豊かな市民文化の振興を図るため、第二回「木山捷平文学選奨」の作品を募集します。

| 募集部門 | 募集作品数 | 賞 |
|------|--------------------|---|
| 短編小説 | 一人 1編 原稿用紙50枚以内 | 木山捷平短編小説賞1人 正賞は賞状、副賞50万円 |
| 随筆 | 一人 1編 原稿用紙10枚以内 | 最優秀1人、優秀1人、入選3人 正賞は賞状、副賞は最優秀3万円 優秀2万円、入選1万円 |
| 詩 | 一人 3編以内 | ☆小・中学生の部 入選18人 佳作18人 正賞は賞状、副賞は記念の楯 ☆一般の部（高校・大学を含む） 最優秀1人、優秀1人、入選3人 正賞は賞状、副賞は最優秀3万円、 優秀2万円、入選1万円 |
| 短歌 | 一人 5首一組 | 最優秀各1人、優秀各1人、 入選各3人 正賞は賞状、副賞は最優秀3万円、 優秀2万円、入選1万円 |
| 俳句 | 一人 5句一組 | |
| 川柳 | 一人 5句一組 | |

応募資格：市内に在住・在学
または勤務地のある人で、
未発表の自作の作品としま
す。

※短編小説は全国公募で、新
人の未発表の新作とします。

応募規程

① A四サイズの四百字詰縦書
原稿用紙を使用すること。

② 楷書でいいねいに、黒ペン、
黒ボールペン、Bか2Bの
鉛筆で濃く書くこと。

③ ワードプロ原稿も可。ただし、
短編小説・随筆は縦書きで、
三十文字×四十行のA四サイ
ズに印刷して、1枚四百字
として枚数換算すること。

④ 随筆・詩・短歌・俳句・川
柳の原稿には、本文と題名
のみ書き、氏名は書かない
こと。

⑤ 随筆・詩・短歌・俳句・川
柳には、所定の事項を明記
した応募用紙を必ず添付す
ること。

※応募用紙は、生涯学習課及
び各公民館に備え付けてい
ます。

※小・中学生の詩部門には、
所定の原稿用紙を準備して
います。



木山捷平
明治37年～昭和43年
笠岡市山口出身

⑥ 短編小説は、原稿の一枚目
に題名・原稿枚数・氏名・
住所・電話番号・生年月日
性別を明記すること。二枚
目には四百字程度のあらす
じを添付すること。なお、
本文は三枚目から書くこと。

※題名・氏名にはふりがなを、
筆名使用の場合は本名を書
き添えること。

⑦ 受賞作品を掲載した作品集
を発売します。応募作品は、
笠岡市の出版物等に無償で
利用できるものとします。

⑧ 応募作品はお返ししません。
⑨ 選考に関する問い合わせに
は応じません。

応募締切：10月2日(月)
(当日消印有効)

※持参するときは、平日の8
時30分～17時15分とします。

※電子メール・FAXでは受
け付けません。
発表：平成19年1月
表彰式：平成19年3月
選考委員
○短編小説
川村湊・佐伯一麦
○随筆
谷口靖彦・柘野健次
○詩：松田研之・谷口靖彦
壺阪輝代
○短歌：塩田啓二・神信子
○俳句：津崎巴津・浜田象男
○川柳：高木勇三・濱野奇童

応募・問合せは

〒七四一八六〇一
笠岡市笠岡一八六六一
(財)笠岡市文化・スポーツ
振興財団
(笠岡市教育委員会
生涯学習課内)

☎082155